

静岡の

調査・研究・活用・保存整備

古墳



2024年

11月9日(土)

13:30 ~ 16:00

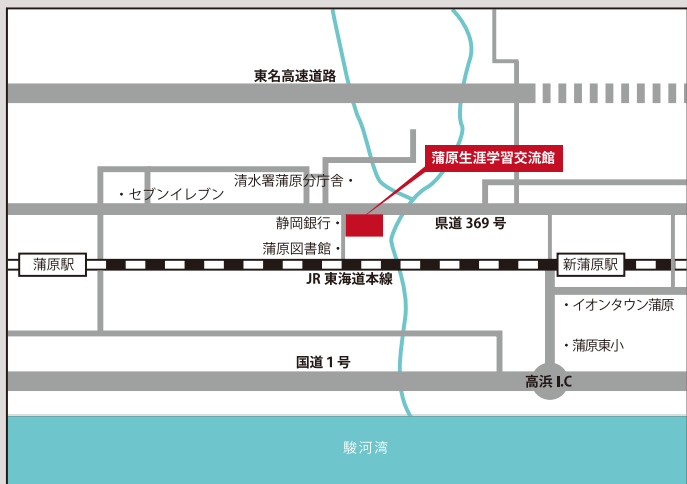
聴講無料

定員 150人
直接会場にお越しください

会場

蒲原生涯学習交流館 1階ホール

〒421-3211 静岡市清水区蒲原新田 1-21-1



プログラム

- 13:00 開場
- 13:30 開会挨拶
- 13:40 「高所に築かれた古墳 副葬品から被葬者に迫る 船津1古墳群」
静岡県埋蔵文化財センター 岩本 貴
- 14:10 「比奈1古墳群の調査成果と富士山・愛鷹山南麓周辺の古代集団」
富士市教育委員会文化財課 藤村 翔
- 14:40 休憩
- 14:50 「横穴墓の3D計測」
菊川市教育委員会社会教育課 丸杉 俊一郎
- 15:20 「よみがえった前方後円墳 吉岡大塚古墳」
掛川市文化・スポーツ振興課 井村 広巳
- 15:50 質疑
- 16:00 閉会

静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原 5300-5

TEL 054-385-5500 FAX 054-385-5506

E-mail maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp



静岡の古墳

— 調査・研究・活用・保存整備 —

静岡県埋蔵文化財センターでは、県内各地で行われた発掘調査の成果を遺跡調査報告会として公開してきました。例年、時代も地域も異なる報告でしたが、今年度は、古墳に的を絞った報告会として開催します。

近年調査された古墳を中心に、発掘「調査」、発掘調査に基づく地域史「研究」、3次元データの「活用」、史跡指定された古墳の「保存整備」の4つの視点からの報告を行います。

どなたでも気軽に参加していただけます。静岡の古墳の魅力に触れていただければ幸いです。



© 静岡県埋蔵文化財センター

「高所に築かれた古墳 副葬品から被葬者に迫る 船津1古墳群」

静岡県埋蔵文化財センター 岩本 貴

船津1古墳群(船津L-205号墳)は、7世紀代に築かれた横穴式石室を主体部を持つ古墳です。県東部では中規模程度の古墳ですが、同古墳群の中で最も標高が高い位置に築かれており、駿河湾を一望できる立地は、当時の死生観を考える上で興味をそそられます。馬具や鉄鍬といった副葬品から、当時最先端の渡来系技術者たちとも関わりが深い人物が葬られた可能性があります。古墳の構造、立地、副葬品から同古墳の被葬者像に迫ります。

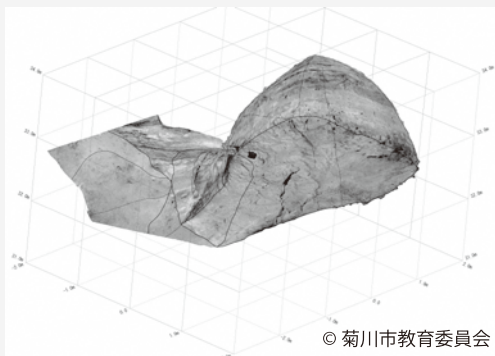


© 富士市教育委員会

「比奈1古墳群の調査成果と富士山・愛鷹山南麓周辺の古代集団」

富士市教育委員会文化財課 藤村 翔

比奈1古墳群は、富士山南麓を流れる滝川の東岸に広がる古墳群です。令和4・5年度の発掘調査により、7世紀に築かれた古墳(石切平第2号墳)が新たに発見され、未盗掘の横穴式石室内から銀象嵌で飾られた大刀をはじめとする豊富な武器類や玉、耳飾り、土器などが見つかりました。富士山・愛鷹山南麓における近年の調査成果もふまえ、古墳時代後期から飛鳥時代に同地域で活躍した集団の実像へと迫ります。



© 菊川市教育委員会

「横穴墓の3D計測」

菊川市教育委員会社会教育課 丸杉俊一郎

近年、文化財の調査・研究において、フォトグラメトリ技術を用いた3D計測が急速に導入されつつあります。この技術は、対象物をあらゆる面から撮影した写真をベースに、写真の視差を解析、特徴点(点群)を抽出して、対象物の立体形状を復元する技術です。今回、横穴墓の発掘調査における計測・記録作成に際し、フォトグラメトリ技術を活用しました。計測方法の実例を紹介するとともに、今後の文化財保存・活用方法への展望を示します。



© 武田寛生

「よみがえった前方後円墳 吉岡大塚古墳 (国史跡 和田岡古墳群)」

掛川市文化・スポーツ振興課 井村 広巳

吉岡大塚古墳は、静岡県内の国指定史跡の中で、復元整備された唯一の古墳です。平成8年度に瓢塚古墳・各和金塚古墳などとともに、5基からなる「和田岡古墳群」として、国の史跡に指定されました。平成19年度から整備のための発掘調査が行われ、その成果に基づき、平成29年度から令和5年度にかけて、整備を実施しました。整備に当たっては、小学生を含む多くの地元市民が参加しました。市民協働による整備の様子を紹介します。